

環境改善の取り組み(その1)

地球温暖化防止(エネルギー削減)

1) エネルギー削減

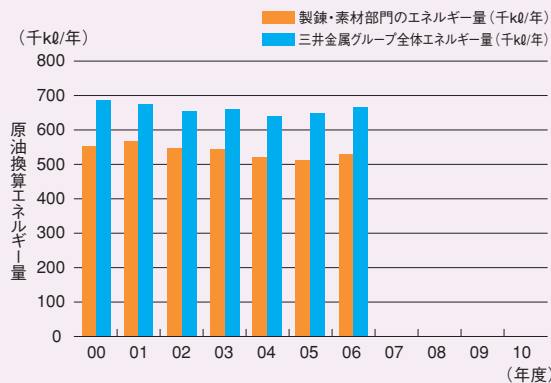
2001年4月策定の環境基本方針に基づき、製錬・素材部門とその他製造部門では各々のエネルギー原単位削減に取り組んでおります。

三井金属グループ全体で使用する原油換算エネルギーは、一部の製造部門の事業拡大による増加があるものの、ほぼ横ばいで推移しております。製錬・素材部門は、三井金属グループ全体のエネルギー使用量の約8割を占めており、省エネ設備への転換等の改善を鋭意進めております。

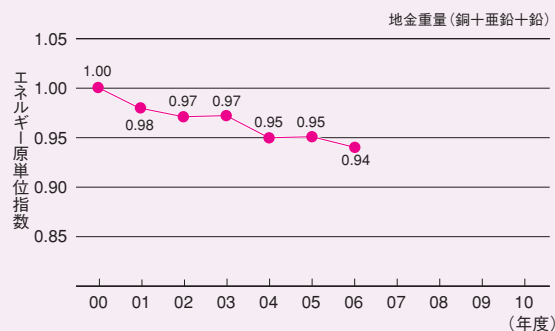
また、製錬部門の地金重量当たりのエネルギー原単位も2000年度を1として右図のように年々漸減してきており、省エネ対策は着実に進んでおります。

今後も、設備の改善や生産効率を高めるなどの省エネ活動を進めてまいります。

原油換算エネルギー使用量 実績



地金重量当たりのエネルギー原単位指数



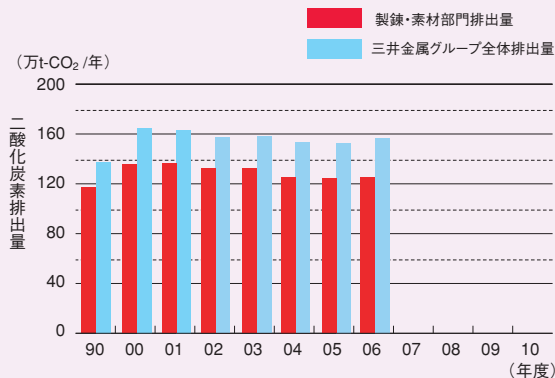
2) CO₂排出量削減

2006年度の三井金属グループ全体のエネルギー起源CO₂排出量は、京都議定書・基準年の1990年度に比べて約11%増加しております。その大きな要因の一つは銅製錬の生産拡大にあります。

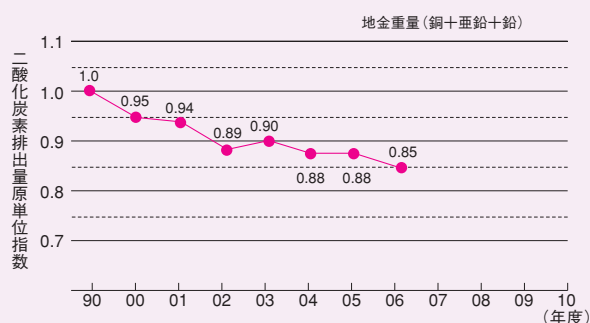
しかしながら、地金重量当たりのCO₂排出量原単位では1990年度を1として、着実に削減傾向にあります。

今後も電力、コークスの効率的な使用などを重点にCO₂排出量を削減してまいります。

エネルギー起源 CO₂排出量 実績



地金重量当たりのCO₂排出量原単位指数



※注(2005年の環境報告書のグラフからの変更)

電力のCO₂排出係数は改正温暖化対策法施行規則に基づいて0.555 kg-CO₂/kWhを使用